

# 七尾市農業委員会だより

2019  
秋

令和元年11月1日発行/発行 七尾市農業委員会/編集 農業委員会だより編集委員会  
TEL 0767 (53) 8440/FAX 0767 (52) 7765/E-mail:nougyouinkai@city.nanao.lg.jp

No.57



## 農地を取り巻く状況

長年農地パトロールをしていて、山林付近の農地の状況を確認するときに、近隣の耕作者や農地の所有者の話には聞いていましたが、最近、高齢になって耕作できなくなった農地が多くなり、荒れている状況を目の当たりにすることが多いです。

昨年から農地パトロール終了後、遊休農地の所有者や相続人の家を農業委員または農地利用最適化推進委員が訪問し、農地の利用意向を確認する取り組みを始めました。訪問先でイノシシによる被害や山間地で日当たりが悪いなどの悪条件が重なり、耕作意欲もなくなり辞めざるを得ない状況になっているという話も聞きます。

農地の集積が進み、中間管理機構や担い手に貸し出していくことが一番ですが、小さな集落単位でも良いので近くの農地が荒れていたら、所有者や農家や兼業農家、地域が協力し合うことで、耕作放棄地の解消に取り組み、地域の景観を守ってほしいと思います。

農地を取り巻く現状は解決できないこともありませんが、耕作することが困難になってきた、誰かに耕作してほしい場合は、農地が荒れてしまう前に農業委員または農地利用最適化推進委員にご相談ください。



## 「大好きな七尾の農地を守りたい」



年間農業を学び、新規認定就農者となり今年で二年目です。白ネギ、水稲、金系瓜等を作り、主に農協に出

農業を始めたきっかけは近年、高齢化が進んでいて「農地を耕すことができなくなってきた」という近所の人の声を聞いて自分が何とかしたいと思ったからです。七尾が大好きなので農地を耕すことで、地域の活性化に繋がればと農業の道に進みました。農業経験は幼い頃の手伝い程度でノウハウがなかったので、いしかわ農業総合支援機構の耕稼塾で一



辻 将彰  
(新保町)

荷しています。



農作物は手をかければ、かけるほど良いものができる実感し、作業一つ一つを丁寧になし、安心安全なものをつくりたいと心掛けて作っています。今年には地元で農業をしていることを知ってもらったために、自前のチラシを作り、西湊まつりに出店。交流の輪が広がり、声をかけられるようになってきました。任される農地が少しずつ増えてきていますが、来年は更に面積を増やし経営を安定させたいと思っています。耕作面積を増やすために、新保町で借り受けることができる農地を探しています。ぜひ、ご連絡をお願いします。

### 農作業の安全確認について

長年の経験から、このくらいは大丈夫と思っても、機械の操作ミスや簡易と思う作業でも重大な事故につながるケースがあります。当管内でも重大な事故が発生しました。今一度、農作業時に潜む危険を予測して安全確認をおこなないながら余裕をもって作業を行いましょ。

#### 事故防止対策の例

- ヘルメットをかぶりましょ。
- 足元の状況を確認して作業をましょ。
- 機械の操作方法を理解ましょ。
- 点検・整備はエンジン止めましょ。
- トラクターから離れるときはエンジンを停止し、サイドブレーキをかけましょ。
- ほ場への進入路の傾斜や農機具等の積み込みは段差に気をつけましょ。
- 体調が悪い時は無理せず休みましょ。
- もしもに備えて携帯電話を持ち歩かましょ。(自宅の敷地内でも)



# 稲刈り体験学習

9月26日

東湊小学校5年生32名は農事組合法人たなかふぁーむ田中哲代表理事の指導のもと稲刈り体験学習を行いました。鎌の持ち方と刈り取り方法を学んでから稲刈りがスタート。慣れないながらも鎌を手に取り、稲刈りをする姿や、上手にテンプが良く刈り取る姿も見られ、それぞれが真剣に取り組む姿に「今年の5年生は上手やなあ」と褒められる場面もありました。

稲刈りした後は、バインダーで束ねた稲を運びはぎ掛けを行い、コンバインでの刈り取り作業も行いました。

児童らは、「楽しかった」「気持ち良かった」「疲れた」「初めてだった

けど、良い経験

になった」と話

し、忘れられな

い経験となった

ようです。苗植

えから刈り取り

までした自分た

ちのお米は今

後、乾燥したの

ち、お米のコン

クールに出品さ

れます。結果が

楽しみです。



# 農業委員会の活動

## 【農業委員会研修会】

8月6日に「サンビーム日和ヶ丘」にて能登地区農業委員会研修会が開催されました。全国農業会議所稲垣照哉事務局長代理から「農業情勢と農業委員会の役割について」として農業委員が取り組む農地利用最適化の必要性を学びました。

事例発表では「話し合いを通じて農地集積」と題し、村田正明農地利用最適化推進委員

が農業を地域の産業とするために、幾度も説明を行い農事組合法人なたちを立ち上げ農地集積に取り組んできた活動について発表しました。パネルディスカッションでは坂井会長と村田推進委員及び他町農業委員で能登地区の課題や今後の農地集積について意見を交わしました。

研修会後には、農地パトロール出

発式が行われ岡野副市長からの激励、

橋本委員の宣

言文朗読、そ

して、坂井会

長の発声によ

りガンパロー

三唱が行われ

閉会となりました。



## 利用権設定による使用貸借及び賃貸借の更新及び再設定をお願いします。

農業経営基盤強化促進法による利用権設定で、使用貸借及び賃貸借を設定していた農地は、契約期間が満了になると同時に解約となります。

更新や新たに設定するときは、利用権設定の申込みが必要になります。まずは農業委員会事務局にご相談ください。



高森正博農業委員が令和元年9月5日に逝去されました。

平成23年7月から農業委員として七尾市の農業の振興発展に多大な貢献をされました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 全国農業新聞



を購読  
しましょう!

経営と暮らしに役立つ情報がいっぱい

◆発行日 毎週金曜日

◆購読料 一カ月700円 年額8,400円

## 編集後記

台風19号で被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈りいたします。

また、事故で逝去され、農業委員として多大な貢献をされた高森正博さんのご冥福をお祈り申し上げます。

さて、七尾市では昨年のように大きな被害もなく、秋の収穫を終えることができたと思います。今年も残すところあとわずかとなり、寒い季節を迎えますが体調に留意されお過ごしください。

編集委員長松本・委員一同

## わいわいカフェ

## 農業委員の料理教室開催

冬野菜を美味しく!!  
野菜の上手な使い方も教えます。

### メニュー

白菜のしゅうまい、  
大根の花びら餅風  
ねぎ焼き



講師 七尾市農業委員 橋本良子氏  
日時 12月14日(土)10時~13時  
場所 矢田郷地区コミュニティセンター  
2階調理室(七尾サンライフプラザ)  
持ち物 エプロン、三角巾  
参加費 500円  
定員 30人(先着順)  
締切日 11月29日(金)  
主催 石川県農業委員会女性協議会  
七尾市農業委員会・羽咋市農業委員会  
後援 全国農業新聞・(一財)石川県農業会議

## 国が支える 安心が大きくなる 担い手積立年金 農業者年金

3つの要件を満たせばどなたでも加入できます!

### ◆加入資格

60歳未満

国民年金第1号被保険者

年間60日以上農業従事



税制面の優遇措置や終身年金で80歳までの保障付きなど様々なメリットがあります。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ、お申し込みは農業委員会へ  
☎ 53-8440 FAX 52-7765